

市町村名	久米島町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	優良雌牛導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)ア		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
事業内容	子牛の品質及び価格の向上を図るため、県内外の家畜セリ市場より優良繁殖雌牛を導入し、農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	27,000	34,200	34,200	31,985	26,625
		(b) 予算現額	34,200	34,200	34,200	31,985	26,625
		(c) 増減額(b-a)	7,200	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		34,200	34,200	34,200	31,985	26,625
	B. 執行済額		33,320	32,041	34,200	31,618	25,574
	うち交付金充当額		26,656	25,632	27,360	25,294	20,459
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.4%	93.7%	100.0%	98.9%	96.1%
予算の状況の説明		優良雌牛導入頭数を60頭購入予定とし、当初予算においては26,625千円を計上し、結果62頭購入することができた。事業実施の目的、効果、成果目標等の達成状況を鑑み適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	優良繁殖雌牛導入に対する補助		目標 (80頭)	(80頭)	(70頭)	(60頭)	
			実績 74頭	81頭	73頭	62頭	
			目標 ()	()	()	()	
達成状況説明		令和2年度において優良繁殖雌牛の導入を行った。予定より安価に購入することができたため、目標の60頭に対し62頭導入することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合		目標 ()	(110%以上)	(107%以上)	(105%以上)	()
			実績	107%	104%	104%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		優良雌牛から生まれた子牛の平均価格587,697円、そうでない牛から生まれた子牛の平均価格563,855円となっており、価格差は104%で目標値を達成できなかった。					

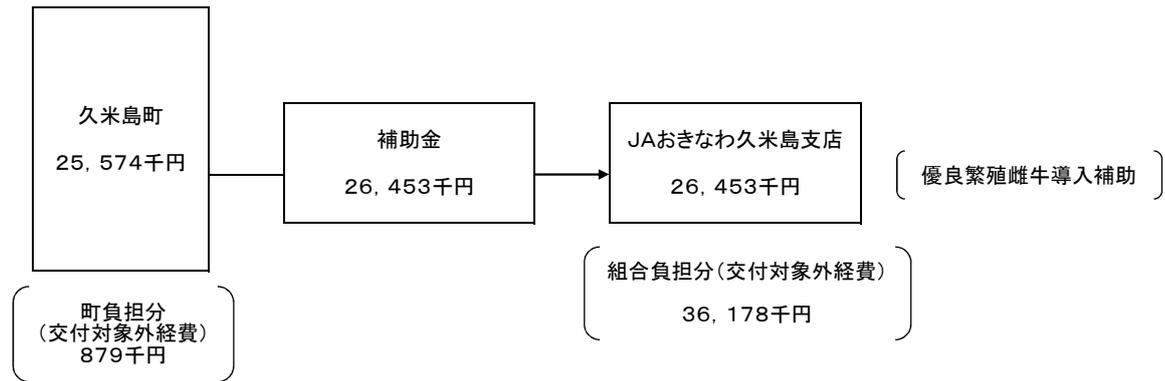
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、前年度に比べ牛のセリ平均価格が下落し、価格の差が伸びなかった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりセリ価格が落ち込んでいたこともあって安価で調達することができ、当初予定していた60頭を越える62頭を購入することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家の次の担い手となる若年層の飼養頭数が以前少ないため、導入支援を引き続き行う必要がある。 ・畜産農家の収入は年6回開催される肉用牛セリで得られるが、町全体として肉用牛の頭数が減少傾向にある。今後のセリ開催が危ぶまれるため、肉用牛の増頭、改良を推進する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・本事業導入農家を選定する場合は、全体の老廃牛更新を促すためにも未導入農家や導入頭数の少ない農家から優先的に行う。
- ・JAと連携し、事業の早期着手をすることにより、事業の早期完了を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
62,631	25,574	20,459	5,115	37,057



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は沖縄県農業協同組合であり、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は畜産業の振興を図る上で必要な経費であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は沖縄県農業協同組合久米島支店であり、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

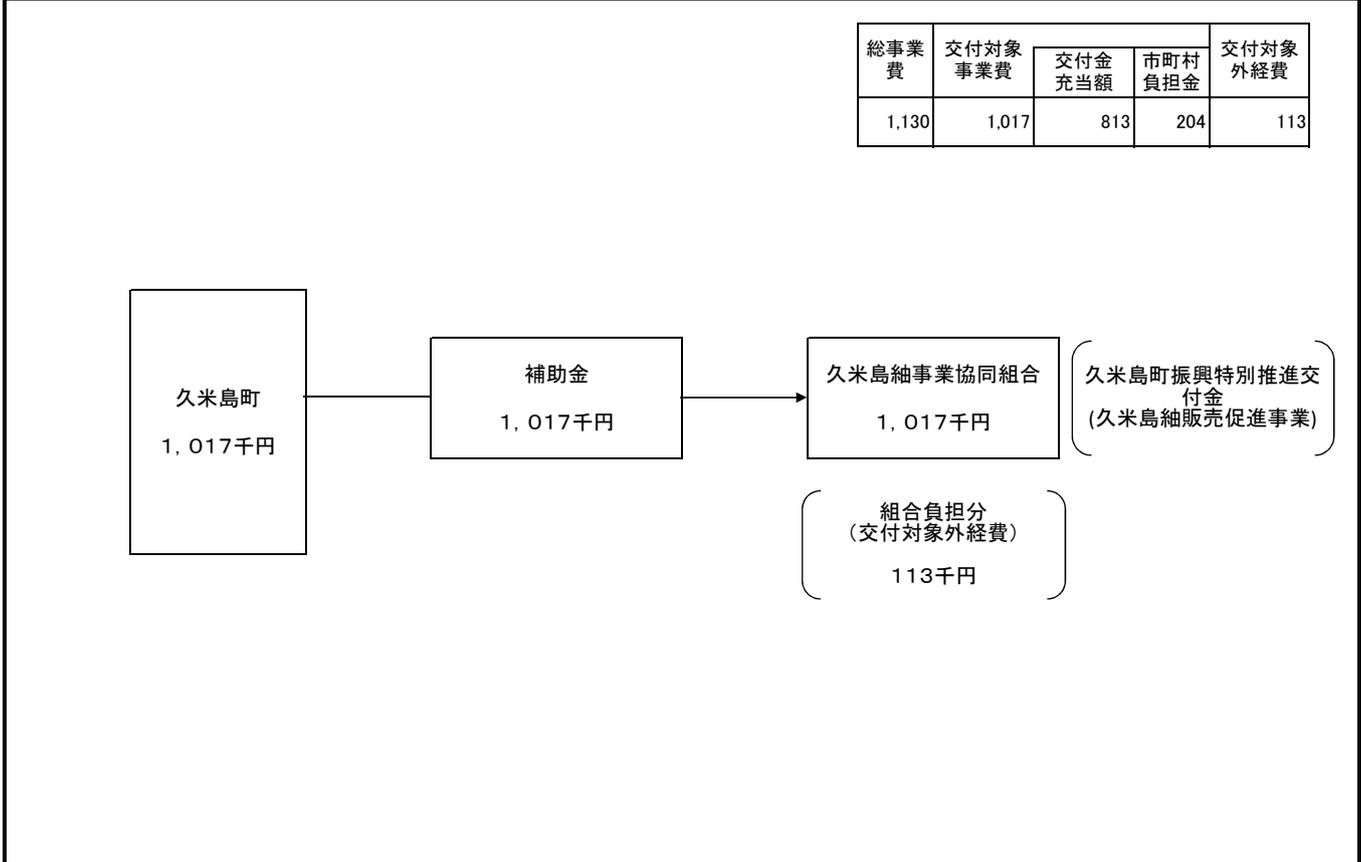
市町村名		久米島町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	久米島紬販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ウ	
担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化 Ⅲ-1-(4)	
事業内容	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、販売会や問屋呉服店への販即訪問等を行う久米島紬事業協同組合へ支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	1530	2,500	2,579	1,692	1,630
	(b) 予算現額	1530	2,500	2,579	1,692	1,630	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	1,530	2,500	2,579	1,692	1,630	
	B. 執行済額	1068	1797	1810	1,294	1,017	
	うち交付金充当額	854	1437	1448	1,035	813	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	69.8%	71.9%	70.2%	76.5%	62.4%	
予算の状況の説明		・不用額613千円については旅費の減(新型コロナウイルス感染症の影響)によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	物産展等への出展	目標	(8 回)	(8 回)	(出展)	(出展)	
		実績	8 回	6 回	4 回出展	1 回	
	呉服店(問屋)へのセールス	目標	()	()	(実施)	(実施)	
		実績			別事業で実施	別事業で実施	
	新商品の開発	目標	(6 反)	(6 反)	(開発)	(6 反)	
		実績	6 反	6 反	6 反開発	5 反	
	達成状況説明		・新型コロナウイルス感染症の影響で、県外へ1回出展し、紬製品の展示即売など販路開拓にかかる取り組みを実施した。 ・呉服店(問屋)へのセールスについては、久米島の来島の際に紬製品の受注・展示会開催の提案を行った。 ・新商品の開発については事業着手が遅れたことにより、目標6反開発には至らなかったが、「久米島紬の四季」といった商品を5反開発することができた。				
	成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度
反物売上額		目標	()	(6,355万円)	(6,000万円以上)	(6,150万円以上)	()
		実績			6,017万円	6,962万円	5,557万円
小物売上額		目標	()	(1,489万円)	(1,500万円以上)	(1,550万円以上)	()
		実績			1,542万円	1,040万円	692万円
【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
	実績						

進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・反物売上額が5,557万円となり、目標を下回る結果でした。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先の展示販売会等が中止・延期になり開催できなかった事が主な要因であると考えます。 ・小物売上額についても同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により、島内への観光客が減少し、久米島紬の里ユイマール館への来館者も減り目標を達成することができなかった。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小物売上額が未達成のため、卒業記念品やそれに代わる小物発注先の開拓が課題である。 ・新たな小物商品の開発等を実施したことにより、さらなる需要の高まりが見込まれるが、注文を受けても製作可能な織子に限りがあるため、生産数量に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業記念品としての受注は実績があり今後も実施しやすいため、発注先として学校機関への営業を行う。 ・需要の高まりに対応すべく、生産数量および売上増加を図るため織子の製作技術向上を強化する取組が必要である。

今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・本町と関わりのある学校機関に対して、卒業記念品として紬製品発注の提案を行う。 ・生産数量の安定化を図るため、織子のスキルアップを目的とした講習会の開催を検討する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である紬組合は、紬製造業従事者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は生じたものの、新型コロナ感染症の影響による旅費の減によるものであり、予算規模は久米島紬の振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である紬組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については清算時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	久米島町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	久米島特産品販路開拓事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ウ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	島の特産品の売上増加を図るため、現代ニーズに合わせた商品の開発、特産品の販路拡大に向け久米島商工会が行うPR活動へ支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,083	11,090	10,229	11,838	9,814
		(b) 予算現額	8,875	9,319	10,229	11,838	7,665
		(c) 増減額(b-a)	▲ 13,208	▲ 1,771	0	0	▲ 2,149
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		8,875	9,319	10,229	11,838	7,665
	B. 執行済額		8,825	7,986	9,425	10,345	6,033
	うち交付金充当額		7,060	6,388	7,540	8,275	4,826
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.4%	85.7%	92.1%	87.4%	78.7%
予算の状況の説明		不用額は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、当初計画していた県内外における物産展等の中止によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・県内外での物産展開催、出展		目標 (8回)	(8回)	(8回)	(2回)	
			実績 6回	6回	6回	2回(オンライン)	
・特産品紹介パンフレット製作		目標 (10,000部)	(10,000部)	(韓国語版・7,000部)	(英語 10,000部)		
		実績 10,000部	7,000部	韓国語版・7,000部	英語日併記 12,000部		
達成状況説明		・県内外での物産展について、県内2回(タイムスオンライン開催1回、商工会フェア1回)出展し、島の特産品のPRを実施した。 ・沖縄産業まつり「ありんくりん市」の参加事業所が1社に限定され、参加できなかったため、その参加費をパンフレット製作費に振り替え、部数を増やしたことによって、目標部数より2000部多く印刷し、各事業所への配布と各催事での配布を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	開催、出展した物産展等における販売額		目標 ()	(28,440千円)	(26,450千円以上)	(31,650千円以上)	()
			実績	29,308千円	32,689千円	3,993千円	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		・新型コロナウイルス感染症の影響により県内外の物産展が中止となり、出展する機会がなかった。沖縄タイムスフェアにおいてはオンライン開催となったが期待できる売上とならなかった為、目標値を大きく下回った。					

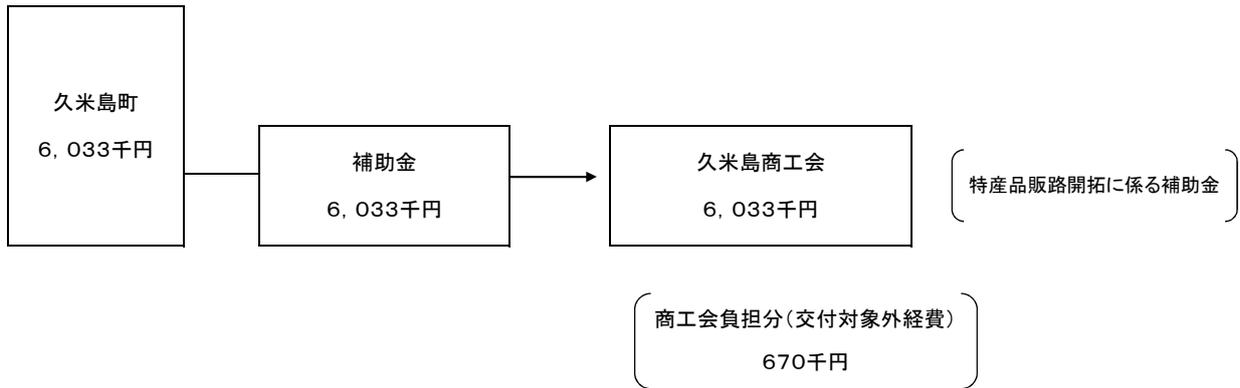
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により各種物産展・催事がのきなみ中止となった。新しい生活様式が求められる一方、事業者も同様に変革せざるを得ない状況である。 令和元年度で7回目を迎える物産展(県内)は来場者および売上は増加傾向にあったがR2年度は減少している。周知不足と天候不良が要因だと考えられる。(令和2年度はオンライン開催等) 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度オンライン物産展の開催で特産品を販売出来たことは、販路拡大に繋がったが、やはり生の販売(取引)ができるリアルな物産展と比較し期待する売上とならない。さらにオンライン販売販路を構築する必要がある。 出来るだけリアルな物産展の開催可能とする為、感染症対策等も組み込んだ開催方法を検討する。 物産展について、開催場所としては定着しておりリピーターも増えているため、周知方法や周知時期を見直すことで来場者数増加に繋げる。

今後の取り組み方針

- ・リアルな物産展開催、満足度の高い物産展の開催に向けて事務局・所管課・出展業者で協議していく。
- ・周知時期の見直しとして、直近の催事として離島フェアがあるが、そこでチラシ等の配布を行うことで周知不足を解消する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,703	6,033	4,826	1,207	670



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は商工事業者によって組織され、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた物産展への出展回数減により不用が生じた。予算規模はオンライン物産展等開催する上で必要な経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である商工会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断して妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については清算段階で検査をしており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名 久米島町

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (2-③, 地域型就業意識向上支援事業), 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-3-(10)イ), 担当部課名 (商工観光課), 事業実施(予定)年度 (平成30~令和3年度), 沖縄振興基本方針該当箇所 (III-1-(4)), 若年者の雇用促進

事業内容 児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育を実施する。また本町の魅力や産業への興味関心を持ち、将来地域を担う人材として意識することを目的とした取組みを行う。

効果発現年度 ■当年度 □後年度(年度)

実施方法 □直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()

Table with 7 columns: 予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース), H28年度, H29年度, H30年度, R1年度, R2年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A), and 予算の状況の説明.

Table with 6 columns: 活動目標(指標)及び達成状況, R2活動目標(指標), 達成状況 (H29年度, H30年度, R1年度, R2年度). Rows include ①ジョブシャドウイング(小), ②職場体験(中), ③インターンシップ、職業人講話、合同企業説明会(高), ④職業体験イベント(小), ⑤リーダー育成プログラム(小中高), ⑥教員向け研修会(小中), ⑦ゲッジョブ連携協議会. Includes a 達成状況説明 section at the bottom.

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
	各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、就業に対する意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		小中高 平均86.6%	小中高 平均84.6%	小中高 平均88.3%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	<p>・本事業を通して就業に対して良い印象を抱いた割合は小学生が94%、中学生が91%、高校生が80%となり、平均88.3%で目標数値を上回った。また、年々数値が上がってきており事業実施効果がでている。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響を受け、生徒の受入れが難しい事業所が多々あった為、協力事業所数の確保が厳しい。 ・新たな生活様式が求められ、一部これまでどおりの事業実施が困難。 ・本事業の副次効果に将来の島内産業人口の確保があるが、現状島内就職希望率が低いことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での事業所の状況把握し関係機関と連携し開拓方法を検討する。また事業所へ事業成果の共有を行い、受入時のやりがいに繋げ協力事業所の増加を図る。 ・オンラインでの企業体験など新たなプログラムを模索し備える。 ・島内就職希望率増加に向けて、島内産業の魅力を伝える取り組みの強化を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組みの効果測定のため追跡調査を実施し、専門的知見による分析を行う。結果を踏まえ事業実施内容等の検討を行う。 ・講話や各種取組以外に島内産業の魅力を伝える方法を協議会や受入事業所と協議し、検討していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,759	7,759	6,207	1,552	0


```

    graph LR
      A[久米島町  
7,759千円] --> B[委託料  
7,759千円]
      B --> C["(株)ケイオーパートナーズ  
7,759千円"]
      subgraph D [ ]
        C
      end
      style D stroke-dasharray: 5 5
  
```

資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は実績、ノウハウ等を勘案した上で随意契約により選定しており妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○一部実施困難な為不用額が生じたが、その他適正な予算規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業内容から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については清算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		久米島町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	久米島観光誘客支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光誘客を図るため、観光案内及び観光広報活動を行う。併せて、町内で開催する観光関連イベントへ補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	16,963	13,391	12,030	10,520	7,299
	(b) 予算現額	16,563	11,391	9,041	8,882	6,510	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 400	▲ 2,000	▲ 2,989	▲ 1,638	▲ 789	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	16,563	11,391	9,041	8,882	6,510	
	B. 執行済額	16,265	9,883	7,517	7,957	5,748	
	うち交付金充当額	13,011	7,906	6,013	6,365	4,598	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.2%	86.8%	83.1%	89.6%	88.3%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた観光広報活動が十分にできなかったため。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	・久米島空港観光案内業務	目標	(2名)	(3名)	(3名)	(3名)	
		実績	5名	3名	3名	3名	
	・観光広報活動	目標	(5件)	(11件)	(6件)	(3件)	
		実績	8件	7件	6件	1件	
・イベント補助	目標	(2件)	(1件)	(2件)	(3件)		
	実績	2件	1件	2件	0件		
達成状況説明	・久米島空港観光案内業務では、空港案内所にて3名体制で、本町に訪れる観光客等に対する観光案内に加え、台風等の非常時に際しての対応を行った。 ・新型コロナウイルスの影響により各種イベントの中止があり、思うような成果は得られなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		観光入域数	()	(123,000人)	(123,073人)	()	()
		実績		103,309人	100,716人		
	イベント参加人数(島外からの参加者)	目標	()	(394人)	(355人)	()	()
		実績		201人	318人		
	観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合(80%以上)	目標	()	()	()	(80%以上)	()
		実績				100%	
	久米島に旅行で訪れてみたいと回答した割合(80%以上)	目標	()	()	()	(80%以上)	()
実績					未実施		
【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	(観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合) ・アンケート回答者のうち全ての方が観光案内所を利用して満足かやや満足と回答しているが、新型コロナの影響により観光客数が大幅に減少したためサンプル数が7件と少なかった。今後はアンケート方法を工夫し、適切なサンプル数の取得に向けて改善を図る。 (久米島に旅行で訪れてみたいと回答した割合) ・新型コロナウイルスの影響により観光客そのものが大幅に減少したため、アンケート調査を実施することができなかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(観光入域数) ・年度初頭からの新型コロナウイルス感染症の影響による来島自粛や緊急事態宣言の全国的な発出により、旅行そのものが制限された。	(観光入域数) ・令和2年初頭から新型コロナウイルス感染症の爆発的まん延による影響で、令和3年度以降においても、誘客宣伝活動を実施困難な状況である。しかしながら、観光入島が感染症禍が収まりその数が回復傾向に向かった際に備え、島内観光関連の感染症対策の強化と、観光案内所における「おもてなし」のさらなる高度化を目指し、問題点の洗い出しを改善を行っていく。
	(イベント参加人数(島外からの参加者)) ・年度初頭からの新型コロナウイルス感染症の影響による来島自粛や緊急事態宣言の全国的な発出により、イベントそのものが軒並み中止・または島内限定での開催となったため、島外からの参加を全く受け付けることが出来なかった。	(イベント参加人数(島外からの参加者)) ・イベントの告知方法の改良(HPやSNSへの露出度アップ)に加え、イベント告知の際に、その他の久米島の魅力(海・山・ヒト)も同時に伝え、イベント参加前後で久米島に滞在したくなる情報を発信することで将来的な参加人数アップを目指す。

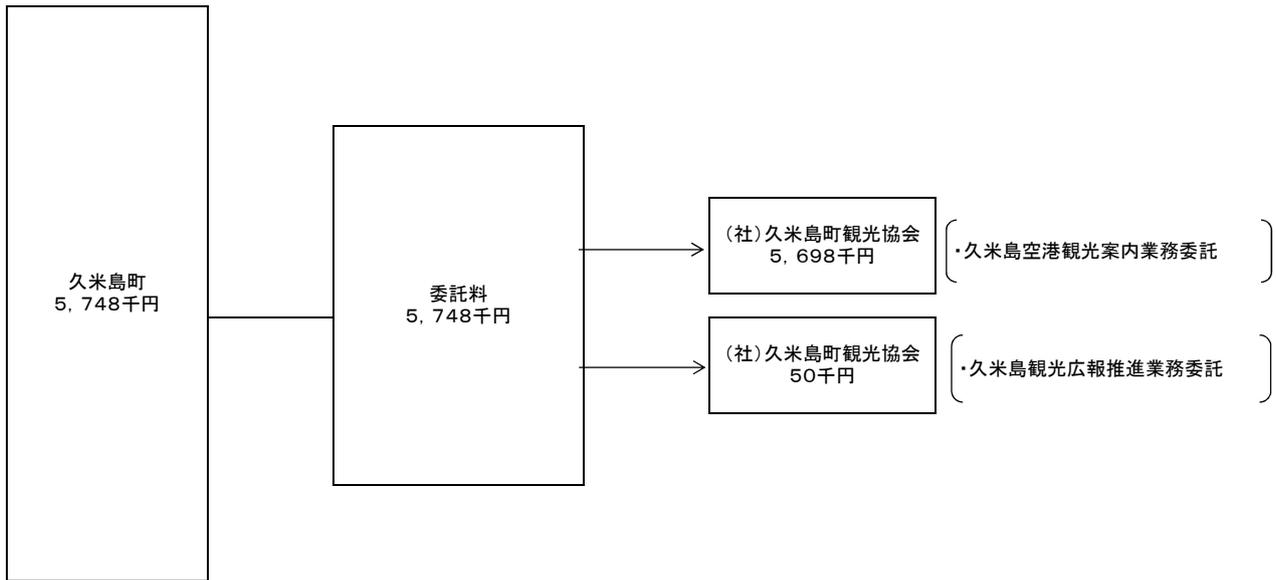
今後の取り組み方針

(観光入域数)
・現状の観光資源による誘客宣伝活動に加え、島民視点での旬の情報をリアルタイムに発信する仕組みの構築や、ハード面に頼らない新しい久米島観光の魅力を様々な角度から発掘・発信していく。都度、閲覧者の反応もリサーチし、より関心度の高い情報の発信に努める、入域数の増加につなげる。

(イベント参加人数(島外からの参加者))
・イベントの告知方法の多角化(HPだけでなく各種SNS)展開と同時に、イベント直前だけでなく計画的・戦略的な告知を行っていく。イベント自体の魅力に加え、開催時期の久米島の旬も伝えることで、イベント参加予定者以外へも、来島したくなるPRを行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

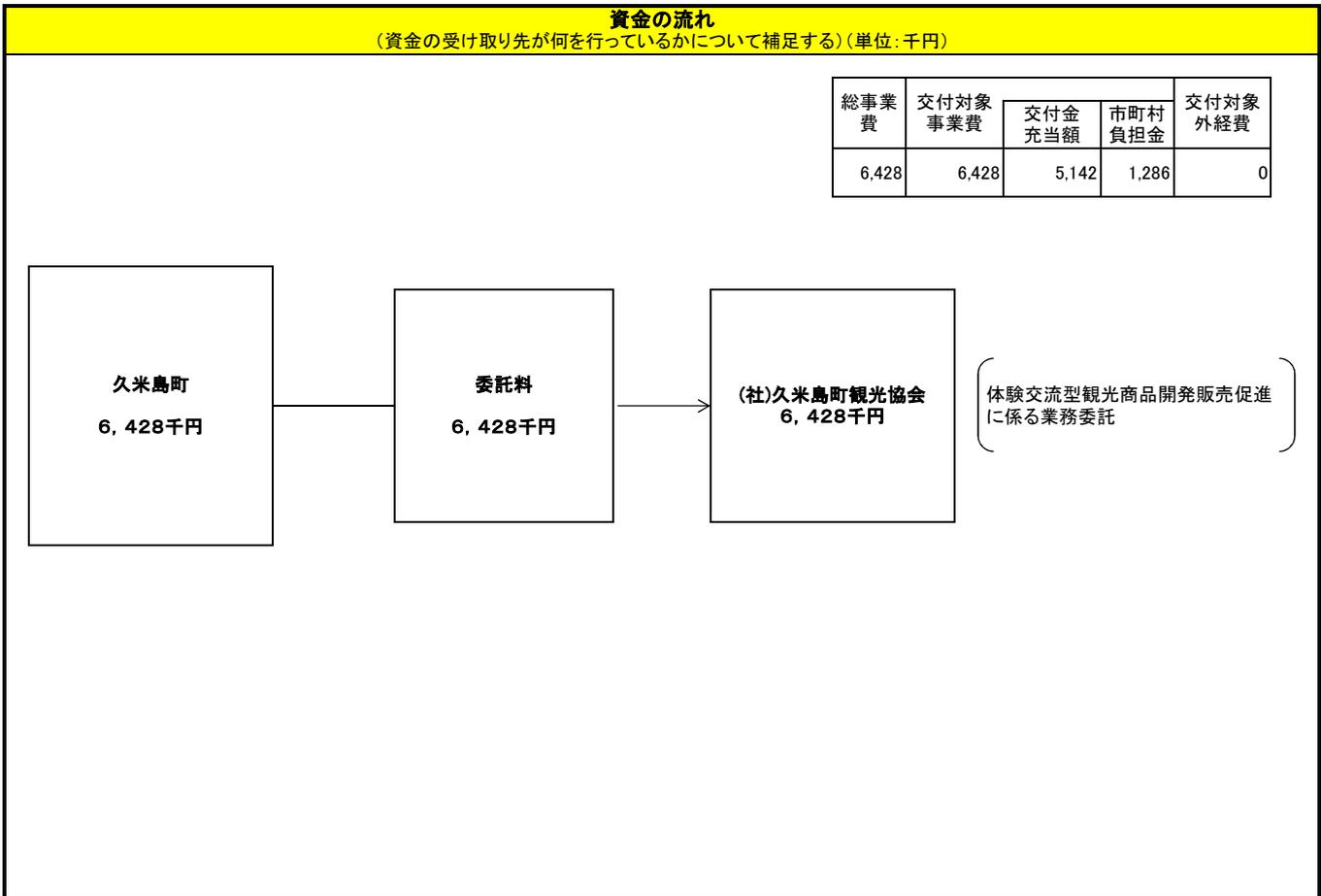
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,748	5,748	4,598	1,150	0



資金の流れ、費目、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○当初計画していたイベント内容を変更したため事業費を減額したが、予算規模は観光誘客に必要な経費であり、適正な希望であった。 ○費目・用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	体験交流型観光商品開発販売促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ア		
担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成26~令和2年度	観光リゾート産業の振興		
事業内容	修学旅行の受入増加及び観光関連商品の売上増加を図るため、修学旅行の誘致及び観光体験プログラムの販売促進を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	18,260	10,101	10,062	7,841	5,087
		(b) 予算現額	17,947	9,038	8,537	5,184	10,809
		(c) 増減額(b-a)	▲ 313	▲ 1,063	▲ 1,525	▲ 2,657	5,722
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	17,947	9,038	8,537	5,184	10,809
		B. 執行済額	16,294	8,047	6,172	3,890	6,428
		うち交付金充当額	13,035	6,437	4,937	3,112	5,142
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	90.8%	89.0%	72.3%	75.0%	59.5%
予算の状況の説明		・新型コロナウイルスの影響により、修学旅行フェア等が中止となったため旅費及び修学旅行助成金の大幅な減額があった。 一報、教育旅行推進強化の模擬体験招聘事業については海外からの方面変更の影響で数量増加に伴い増額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	修学旅行の誘致	目標	()	(修学旅行の誘致)	(修学旅行の誘致)	()	
		実績		修学旅行の誘致	修学旅行の誘致		
	体験プログラムの販売促進	目標	()	(体験プログラムの構築)	(体験プログラムの構築)	(体験プログラムの構築)	
		実績		体験プログラムの構築	体験プログラムの構築	体験プログラムの構築	
民泊受入体制の整備、強化	目標	()	(受入整備、強化)	(受入整備、強化)	()		
	実績		受入整備、強化	受入整備、強化			
達成状況説明	・修学旅行の誘致:当初計画していたOCVB主催の商談会は中止・オンラインでの実施となったため、個別に関東・関西において旅行代理店・学校向け修学旅行誘致活動を行った。 ・体験プログラムの販売促進:R2年度は、新規体験プログラムの造成・実施ではなく、新型コロナの影響も踏まえ、いかに安心・安全なプログラムを催行するかに重点を置いて、一般旅行者・教育旅行の受入れを行った。 ・民泊受入体制の整備:R2年度の民泊は、新型コロナの感染リスクを考慮し、必要最小限の実施となった。一方、宿泊を伴わないホームビジットを実施し、新たに8軒の新規受入れ家庭の発掘へとつながった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	①修学旅行の受入校	目標	()	(11校以上)	(10校以上)	()	()
		実績		7校	4校		
	②体験プログラム売上額	目標	()	()	(3,591,782円以上)	(17,393,921円以上)	()
		実績			3,464,292円	580,100円	
	【参考指標】体験プログラム利用者数	目標	()	(1,823人以上)	()	(656人以上)	()
		実績		1,759人		150人	
	【参考指標】民泊事業者数	目標	()	(38戸以上)	()	(30戸以上)	()
実績			43戸		38戸		
進捗状況説明	・R2年度、行先方面変更等で13校の久米島修学旅行が決定したが、新型コロナウイルスの影響で、内8校が中止となり、新型コロナウイルス禍ではあったが、最終的に5校の修学旅行を久米島で実施した。 ・R3年度の緊急事態宣言の発令により、一般旅行者への体験プログラムの実施は大きく減少した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(修学旅行の受入校) ・大規模校の修学旅行では、航空機送客の際、航空機運賃・機材の収容人数や運航便数、フェリーでは那覇-久米島間の所要時間が、以前より久米島修学旅行の課題として挙げられている。 ・修学旅行誘致の際に、教育旅行民泊の要望が多いが、今年度も引き続き新型コロナウイルスの影響により、教育旅行民泊受入れ家庭の休業・廃業が見込まれる。 (体験プログラム売上高) ・新型コロナウイルス、緊急事態宣言の発令により、一般旅行者・修学旅行に対して久米島への渡航制限、更なる旅行者の減少が予想される。久米島への旅行者減少に連動し、体験プログラムの更なる落ち込みが予想される。	(修学旅行の受入校) ・R2年度は航空機送客の面では臨時便を運航し、普通便と臨時便を併用して270名規模の学校の受入れを行った。今後も航空会社と協力して臨時便運航、大型校受入れの際の地盤固めを行う。 ・今年度も引き続き新型コロナウイルスの影響が出てくると思われるので、教育旅行民泊に固執するばかりでなく、比較的受入れハードルの低いホームビジット(日帰り島人体験)の受入れ家庭の発掘を行う。 (体験プログラム売上高) ・新型コロナウイルス禍ではあるが、R3年度も羽田-久米島直行便の就航が予定されているので、直行便就航期には以前実施したように、空港でプロモーションを行うなどして一般旅行者の体験プログラムへと誘導を図る。
	今後の取り組み方針	
(修学旅行の受入校) ・昨年度同様、航空会社に働きかけ、臨時便の運航機会を増やし、臨時便を利用したスペシャルな久米島修学旅行を提案する。また、現状では関東より関西からの修学旅行が多いため、積極的に関東方面への誘致活動を行い、関東方面からの修学旅行実施校の増加を目指す。 ・教育旅行民泊受入れ家庭の発掘を行いつつ、宿泊をとも合わないホームビジットの受入れ家庭の発掘も併せて行う。 (体験プログラム売上高) ・体験プログラムでは、一般旅行者への利用を広げるために、時期・ターゲットを明確にして観光協会HPや観光案内所での、販売促進を積極的に行っていく。修学旅行向け体験プログラムでは、旅行代理店や学校向けに専用体験プログラム紹介資料を配布し、販売していく。		



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は特殊な業務内容であったため、随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は新型コロナウイルス感染症等の影響による修学旅行生の減であり、目標を達成するために必要とされる適正な予算規模になっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	航空運賃コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)ウ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	交流人口の増加を図るため、久米島へ来訪する人の航空運賃の負担を軽減させ、航空事業者が運賃を割り引いて販売した際の減収分を町が負担金として支払う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H30年度	R1年度	R2年度	R 年度	R 年度
		(a) 当初予算額	20,000	19,000	16,200		
		(b) 予算現額	17,000	17,000	13,500		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,000	▲ 2,000	▲ 2,700		
		(d) 繰越額	—	0	0		
		A. 計(b+d)	17,000	17,000	13,500		
		B. 執行済額	15,536	15,391	8,358		
		うち交付金充当額	12,428	12,312	6,686		
		次年度繰越額	0	0	0		
		執行率(%) (B/A)	91.4%	90.5%	61.9%		
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響による来島自粛や減便を考慮し、2,700千円を減額したものの、搭乗者が見込めず4,085千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R 年度	
	航空会社が実施する交流人口の航空運賃割引に対して対して補助を行う。	目標	(航空運賃の補助)	(航空運賃の補助)	(航空運賃の補助)	()	
	※交流人口とは、島民以外の人で久米島町を訪れる人のことをいい、レジャー目的旅行者の他、ビジネス客等を含む。	実績	航空運賃の補助	航空運賃の補助	航空運賃の補助		
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	・予定通り航空運賃の補助を実施することができた。本事業活用による旅客者は18,159名で対前年度△47%あった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	久米島町への入域者数	目標	()	(123,000人以上)	(124,000人以上)	(118,000人以上)	()
		実績		103,309人	100,716人	54,783人	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	新型コロナウイルスの影響での活動自粛により来島者が減となり、目標を達成することができなかった。						

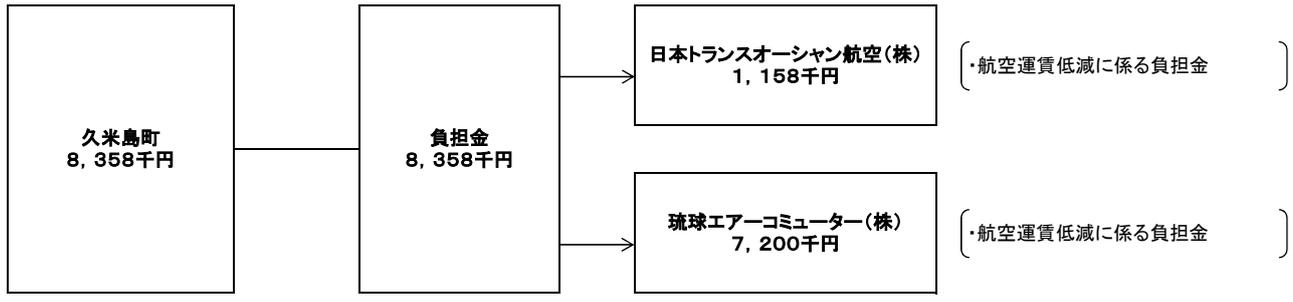
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>新型コロナウイルスの影響による活動自粛等にて久米島町への入域者数が減となり、目標を達成することができなかった。特にゴールデンウィークを含む5月、観光ピーク時である8月の観光入域者数の減少が著しく、両月で前年度比15,825人減(78%減)となっている。</p>	<p>新型コロナウイルスの収束を見据え、今後も本事業による取り組みを継続していくとともに、各種運賃の分析を行い、事業の拡充を行っていく。</p>

今後の取り組み方針

今後も本事業を活用し、観光入域者及び交流人口の増加を図り、落ち込んだ地域経済の回復を目指すとともに地域活性化を促進していく。
また、「第2次久米島町観光振興計画」を軸に観光誘客に係る各施策を実施し、更なるスポーツイベントの誘致や観光メニューの開発にも取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
8,358	8,358	6,686	1,672	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定については久米島と沖縄本島を結ぶ航空会社2社であり、費用負担の協定書を締結しており、選定方法は妥当である。</p> <p>○新型コロナウイルス等の影響により搭乗者数が伸びず不用が生じたが、予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については、事業目的の観点から精算時に精査しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	久米島観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)イ	
担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	マーケティング事業として、第2次久米島町観光振興基本計画の基本理念「久米島ならではの観光を実現する」ため、「ターゲットに応じた誘客、プロモーション戦略」を展開し、久米島ブランドの構築を目指す。 また、インバウンドプロモーション事業として外国人訪問客に対して特産品等の認知、魅力等のニーズを高め、久米島観光に対する関心、意欲を効果的に高めるプロモーションを展開する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	28,244	25,380	32,994	19,046	11,242
	(b) 予算現額	28,244	25,380	27,187	17,686	11,242	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 5,807	▲ 1,360	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	28,244	25,380	27,187	17,686	11,242	
	B. 執行済額	28,134	25,380	27,187	17,686	11,242	
	うち交付金充当額	22,507	20,304	21,749	14,149	8,993	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の事業計画通り実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	国内向けプロモーション	目標	(2社)	(2社)	(実施)	(実施)	
		実績	2社	2社	実施	実施	
	国外向けプロモーション	目標	()	()	()	(実施)	
実績					実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 国内を対象としたマーケティング事業ではブランドコンセプトの確立や着地型商品の提案を目的に町民を対象にした意識調査や物産品、観光資源を明らかにし、その結果を踏まえて、国内向けプロモーションの在り方に関する検討委員会、意見交換を重ね、ブランドコンセプトを確立した。またそのコンセプトを踏まえた着地型観光商品を作成した。 国外向けプロモーションでは、久米島ブランドの構築、強化を目的として、台湾人を対象とした意識調査を行い、その結果を基に、HP開設や台北市、高雄市でのアンテナショップを開設した。これらの調査や事業で得られた情報をワーキンググループ等で共有、議論し、台湾人向けモニターツアーを実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	()	(123,000人)	(123,073人)	(118,000人)	()
	実績		103,309人	100,716人	54,783人		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> (観光入域数) 入域観光客数は、新型コロナウイルスの影響もあり目標に届かなかった。 						

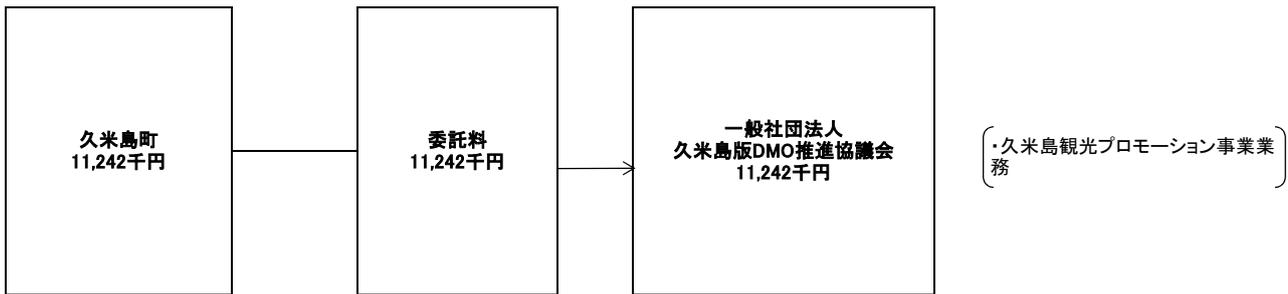
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(観光入域数) 本町における観光産業は、市場におけるマーケティングや観光入域における満足調査などがなされておらず、観光プロモーションや誘客が戦略的に取り組まれていない為、長年観光が伸び悩む最重要課題となっている。観光施策をより戦略化することで、観光入域の増加、観光産業の活性化を図ったが、新型コロナの影響により目標には届かなかった。	(観光入域数) 令和2年初頭から新型コロナウイルス感染症の爆発的まん延による影響で、令和3年度以降においても、誘客宣伝活動を実施困難な状況である。しかしながら、コロナ禍が収まり、入域客数が回復傾向に向かった際に備え、これまで構築したブランドコンセプトを活かした着地型観光商品のPRや観光資源の更なる磨き上げを行い観光入域数の増加を図る。

今後の取り組み方針

Withコロナ期に対応した観光プロモーションの在り方を検討し、引き続き久米島ブランドの魅力構築やコンテンツの掘り起こしを行うとともに、観光セミナー等を通して、町民の観光誘客に対する機運の醸成を図る。また、afterコロナ期を見据えたインバウンドプロモーションに向けた課題整理を行うとともに、より効果的な情報発信の体制を構築する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,242	11,242	8,993	2,249	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は町の政策目的達成のため随意契約を行ったが、委託先は第2次久米島町観光振興基本計画において、島内の観光振興を実現するための役割を担い、町内経済5団体で構成され、公共性の高い活動をしていることから、妥当であったと考えている。 ○予算規模は観光振興に必要な額であり、適正な規模だった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から書類による支出等確認を行い、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	子育て支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)イ		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	町民や観光客等の利便性確保を図るため、町民や観光客等が安心して遊べる公園を整備(東屋、トイレ、遊具の設置等)する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	42,064		6,416	96,572	120,069
		(b)予算現額	65,274		7,940	86,978	110,166
		(c)増減額(b-a)	23,210		1,524	▲9,594	▲9,903
		(d)繰越額	38,880		0	0	0
	A. 計(b+d)		104,154		7,940	86,978	110,166
	B. 執行済額		65,161		7,939	86,978	110,166
	うち交付金充当額		52,128		6,351	69,582	88,132
	次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		62.6%		100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初、大型遊具購入費用等を共通仮設費の率計上で積算していたが、積み上げ計上分で積算する必要があると判断したため、工事費を9,903千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	公園造成工事	目標	()	()	(公園整備工事)	(公園整備工事)	
		実績			公園整備工事完了	公園整備工事完了	
	公衆用便所新築工事	目標	()	()	(公衆用便所新築工事)	()	
		実績			公衆用便所新築工事完了		
実施設計の完了	目標	()	(実施設計)	()	()		
	実績		実施設計の完了				
達成状況説明	公園内芝張り、複合遊具等の設計及び設置、公園照明機器を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	公園造成工事完了	目標	()	()	(完了)	(完了)	()
		実績			完了	完了	
	公衆用便所新築工事完了	目標	()	()	(完了)	()	()
		実績			完了		
	【R3成果目標】施設の整備により利便性が確保されたかを含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)
実績							
進捗状況説明	公園内芝張り、複合遊具等の設計及び設置、公園照明機器を設置した。						

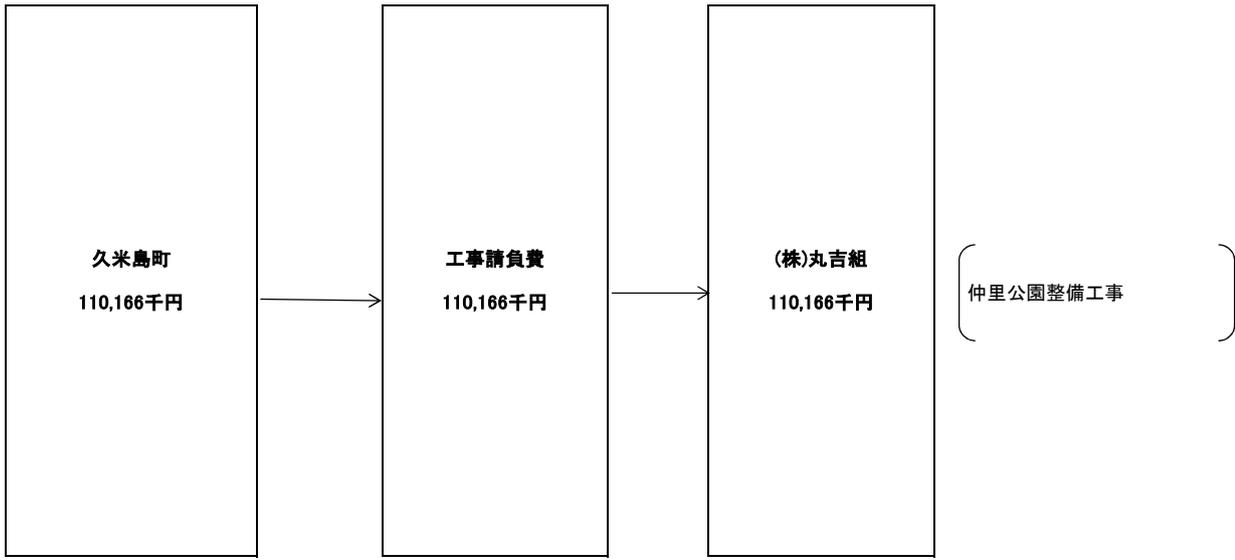
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本町の少子化対策の一つとして、安心・安全に遊べる公園を整備するため、令和2年度は公園芝張り及び複合遊具等を設置した。	令和2年度は遊具等の設置工事を実施し、令和3年度の共用開始に向けて適切に事業を進めていく。

今後の取り組み方針

共用開始後の令和3年度において、利便性が確保されたかを含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
110,166	110,166	88,132	22,034	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○施工事業者は町に提出されている入札参加資格審査業者より指名委員会で審査し選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な予算規模であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	防災情報収集発信体制整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)イ			
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成29~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9			
事業内容	災害時における町民及び観光客等の安全を確保を図るため、災害発生時における情報の収集及び発信を効率的・効果的に行うための防災情報システムを整備する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a)当初予算額		8,650		8,571	73,201	
		(b)予算現額		8,465		8,571	70,135	
		(c)増減額(b-a)		▲185		0	▲3,066	
		(d)繰越額		0		0	0	
	A.計(b+d)		8,465		8,571	70,135		
	B.執行済額		8,424		8,140	68,080		
	うち交付金充当額		6,739		6,512	54,464		
	次年度繰越額		0		0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.5%		95.0%	97.1%		
予算の状況の説明	・情報システム工事が専門性を要したため、入札残により施工監理業務委託を発注した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	久米島町防災情報システム実施設計		目標	()	()	(実施設計)	()	
			実績			実施設計完了		
久米島町防災情報システム整備工事、工事施工監理業務委託		目標	()	()	()	(整備工事)		
		実績				整備工事・施工監理業務完了		
達成状況説明	・令和2年度内で、防災情報収集システム整備工事を行った。 ・今後、災害時や訓練等で利活用し住民の防災意識向上を図っていく。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)	
	・久米島町防災情報システム実施設計の完了 ・久米島町防災情報システム整備工事完了		目標	()	()	(実施設計完了)	(整備工事)	()
			実績			実施設計完了	整備工事・施工監理業務完了	
	【R3成果目標】 町民及び観光客等が参加する避難訓練を実施(1回以上/年)し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	()	()	(80%以上)
進捗状況説明	・令和元年度は久米島町防災情報システム実施設計を完了。 ・令和2年度は整備工事・施工監理業務を発注し完了。 ・今後、訓練等に活用し緊急時等に備え住民の防災意識向上を図っていく。							

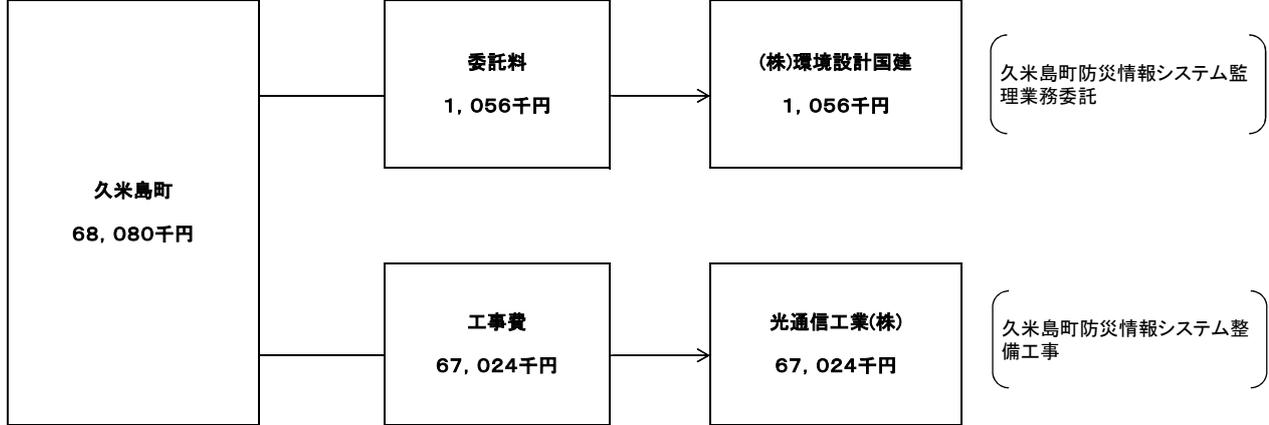
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の情報収集、発信に電話・FAX、メール等で行っていたためスムーズな収集・発信を行う必要がある。 ・避難情報など住民等に対し速やかな周知が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災情報システムを導入することにより情報収集・発信がスムーズに行うことができるが、災害時・訓練等でも利用できるよう担当職員、関係部署等において操作訓練を行っていく。 ・当該システムと同法系防災行政無線と連携し避難情報など住民等へ速やかな周知を図る。 ・操作熟知することにより、災害時等に利活用できる組織体制を整える。

今後の取り組み方針

災害時における町民及び観光客等の安全を確保するため、防災情報システムを活用し情報配信等を行う。また、毎年実施している地震・津波防災訓練などで利活用し、住民の防災意識向上に取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
68,080	68,080	54,464	13,616	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・実績のある業者を選定し指名競争入札を行っており、支出先の選定方法は妥当であったと考えている。 ・不用額は入札残によるものであり妥当である。 ・費目、用途は精算段階で検査を行っており、目的に即し必要なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

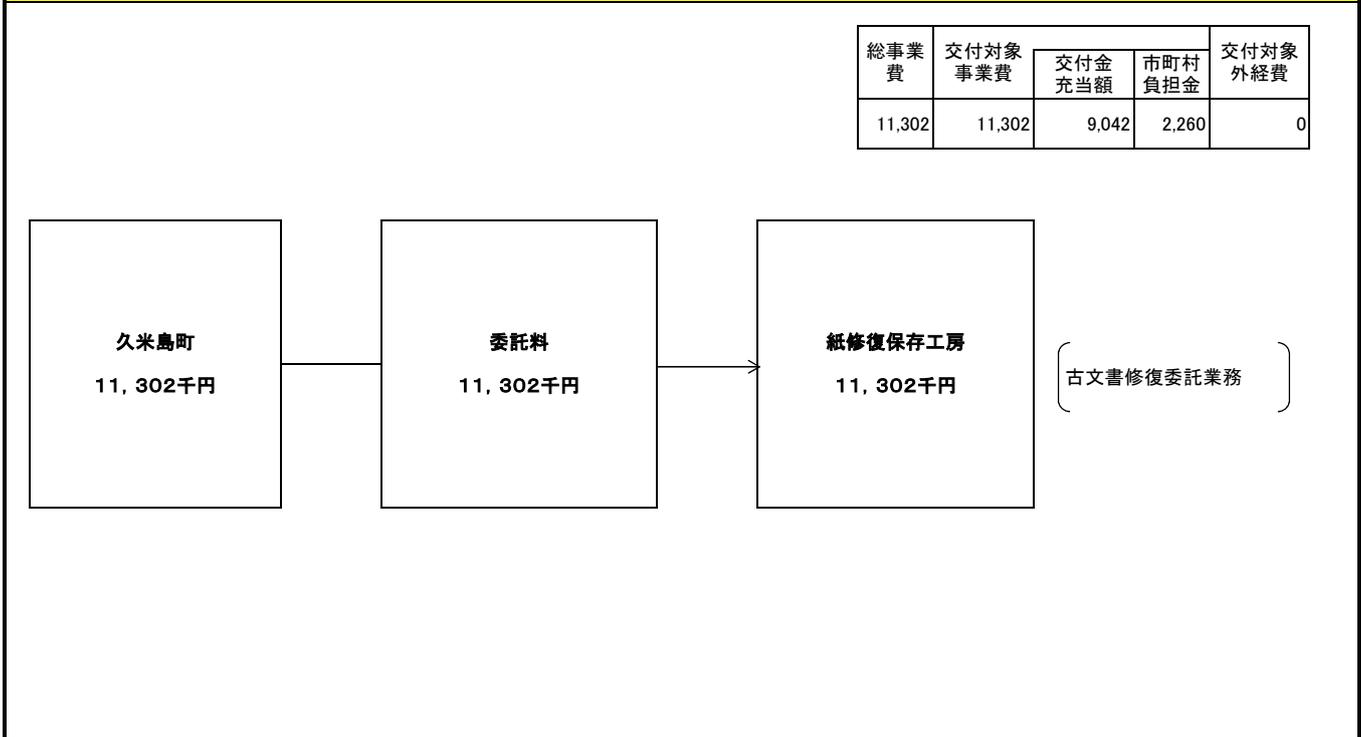
市町村名	久米島町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	文化遺産保存活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)ア	
担当部署名	久米島博物館	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	地域の歴史文化の継承を図るため、古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		9,744	10,050	10,000	10,572	11,362
			9,744	9,641	10,500	10,547	11,362
			0	▲ 409	500	▲ 25	0
			0	0	0	0	0
			9,744	9,641	10,500	10,547	11,362
			9,734	9,641	10,398	10,547	11,302
			7,786	7,712	8,318	8,437	9,042
			0	0	0	0	0
			99.9%	100.0%	99.0%	100.0%	99.5%
	予算の状況の説明	業務内容の変更はなく、事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	修復件数:230点 進捗71.8%(1625件中1166件(累計))	目標	(230点)	(230点)	(230点)	(230点)	
		実績	230点	230点	230点	230点	
	翻刻・口語訳件数:30点 進捗79.2%(重要資料288件中228件(累計))	目標	(30点)	(30点)	(30点)	(30点)	
		実績	30点	30点	30点	30点	
修復資料を博物館ロビーにて展示	目標	()	()	(展示)	(展示)		
	実績			展示	展示		
達成状況説明	・事業実施により古文書資料230件の修復及び30件の翻刻を行い、目標数値を達成できた。 ・これまで当該事業において得られた成果品を展示したロビー展を開催し、当該事業の成果を公開することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	修復を行った古文書の利用件数	目標	()	()	(40件以上)	(120件以上)	()
		実績			69件	0件	
	調査利用者	目標	()	()	(4名以上)	(5名以上)	()
		実績			9名	0名	
修復して資料を活用した企画展の来場者数	目標	()	(400人以上)	()	(4300人以上)	()	
	実績		1,333人		2,362人		
進捗状況説明	(古文書の利用件数) ミニロビー展を開催し、当該事業及び成果品を公開活用することはできたが、新型コロナウイルスの影響下での来島自肅要請等により来館者が減となり、目標値を達成することができなかった。 (調査利用者) ・新型コロナウイルスの影響下での来島自肅要請等により調査が全て中止となり、目標値を達成することができなかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(古文書の利用件数) ・新型コロナウイルスの影響下での来島自肅要請等により久米島博物館への入館者数が減となり、目標を達成することができなかった。 (調査利用者) ・令和2年度に予定された全ての調査が、コロナの影響により中止となり、調査件数、調査利用者に影響を及ぼした。また令和3年5月、6月に予定された調査も中止となった。利用したい旨の問い合わせはあり、今後の状況に注意しながらも、調査利用者誘客に向けて取り組む必要がある。	(古文書の利用件数) ・コロナの状況下においても、町民及び観光客並びに研究者が安心して久米島の文化遺産を利活用できるよう、対策を万全にし、成果品の適正な公開、保存・管理に努めつつ、勉強会及び展示会並びに学術利用に寄与する活動を行う。 (調査利用者) ・コロナ収束後に迅速に調査が再開されるよう、調査利用者との連絡を密にしていきたい。

今後の取り組み方針

(古文書の利用件数) ・町民の歴史文化、及び文化財に対する関心の向上を図り、博物館ロビーにおいて修復古文書の展示を行い、当該事業の周知を行う。
(調査利用者) ・成果品の活用を促し、成果品の調査で得られた成果を一般に広く普及する為、調査成果の執筆活動等に寄与する活動を行う。また、久米島博物館のコロナ対策を万全にし、国、県、町の対策方針に注意し、調査利用者が安心して調査を行えるよう務める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○古文書修復委託は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○令和3年度までに目標を達成するための必要な事業規模を算出し、事業を実施した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については清算時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

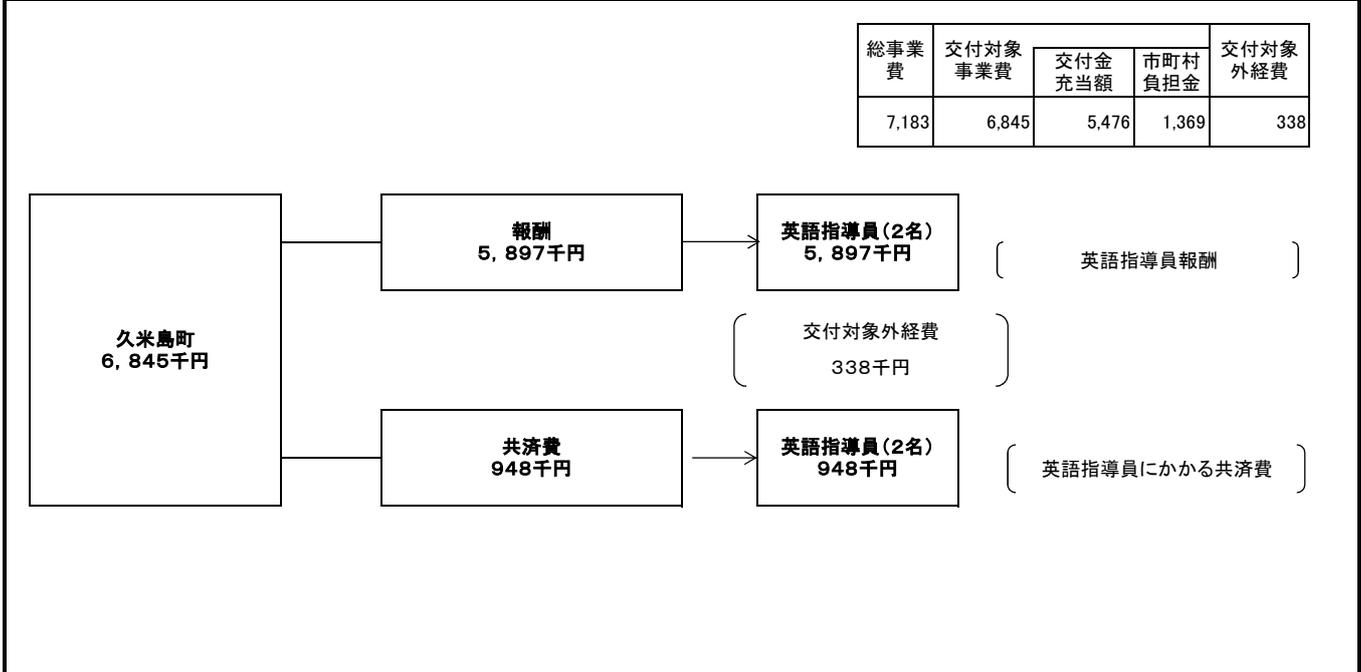
市町村名	久米島町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	英語指導員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)ア	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、小学生が英語に親しむ環境を創出する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	(a) 当初予算額	2,119	1,911	1,800	6,632	7,044
		(b) 予算現額	2,119	1,911	1,800	6,735	6,937
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	103	▲ 107
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	2,119	1,911	1,800	6,735	6,937
		B. 執行済額	2,118	1,751	1,755	6,735	6,845
		うち交付金充当額	1,472	1,400	1,403	5,388	5,476
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	91.6%	97.5%	100.0%	98.7%
	予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染拡大防止対策による学校休校措置時の給料について、子の世話以外の場合の特別休暇を補助対象外経費としたが、それ以外は事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	英語指導員配置数:小学校2名(日本人を想定。町内の6校を巡回。) ・小3~小6の「外国語活動」や「総合探求」の時間に学級担任を支援する。	目標	(小学校1名)	(小学校1名)	(小学校2名)	(小学校2名)	
	実績	小学校1名	小学校1名	小学校2名	小学校2名		
達成状況説明	目標	()	()	()	()		
	実績						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
	実績		85%	85%	87%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	児童へのアンケートでは、87%が英語に対する興味・関心が高まったと回答しており、目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・令和2年度は新学習指導要領全面実施年度であったが、平成30年度・31年度の移行措置期間以前から本事業を継続実施してきた。31年度には指導員を1名増の2名体制とし、全面实施と同程度の授業時数確保、教諭と指導員の打ち合わせ時間確保、授業の工夫・改善に取り組んできたことで、専科制でない小学校教諭の負担軽減や授業力向上も図りながらスムーズな全面实施への移行ができた。</p>	<p>・今後も教諭と指導員の意思疎通と、綿密な打合せの時間を確保するため、2名体制で実施していく必要がある。 ・英語指導員の研修機会の設定や、連絡会等の定期開催、中学校の英語教諭との連携について継続して取り組む必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・引き続き担当教諭と指導員の十分な打合せ時間を確保し、連携体制の構築、強化を図る。
 ・児童生徒の英語に対する興味・関心をより高めるため、英語指導員の指導方法、授業支援の質向上のため、公開授業の相互参観や定期連絡会等の情報交換の場を設定する。また、学習意欲を高め中学校へ繋ぎをつくっていくために、中学校の英語教諭と連携を図り、授業改善(内容・単語・センテンス等)についても継続し取り組んでいく。
 ・ICTの効果的な活用推進等の教材活用力向上のための環境整備等の支援を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 使途の流 れ、費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定については、英語指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○予算規模は、事業に見合った規模と考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定している、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	基礎学力向上学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)ア		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,109	7,390	7,109	7,311	8,057
		(b) 予算現額	7,009	6,987	7,109	7,311	7,948
		(c) 増減額(b-a)	▲100	▲403	0	0	▲109
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		7,009	6,987	7,109	7,311	7,948
	B. 執行済額		6,910	6,809	6,820	6,805	8,006
	うち交付金充当額		5,459	5,446	5,456	5,444	6,405
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.6%	97.5%	95.9%	93.1%	100.7%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染拡大防止対策による学校休校措置時の給料について、子のご世話以外の場合の特別休暇を補助対象外経費としたが、それ以外は事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	基礎学力向上学習支援員配置数: 小学校3校に各1名		目標 (3名配置)	(3名配置)	(3名配置)	(3名配置)	
			実績 3名配置	3名配置	3名配置	3名配置	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	計画どおり小学校3校に3名の学習支援員を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄県到達度調査において、国語、算数で中学年(3年生・4年生)県平均8点以上		目標 ()	()	(県平均6点以上)	(県平均8点以上)	()
			実績		県平均+6点	調査なし	
	沖縄県到達度調査において、国語、算数で高学年(5年生・6年生)県平均+1点以上		目標 ()	()	(県平均以上)	(県平均1点以上)	()
			実績		県平均+6点	県平均+4.9点	
	【参考指標】 沖縄県学力到達度調査において県と本町のとの平均正答率の差県平均以上		目標 ()	(県平均以上)	()	()	()
		実績		7科目中4科目が県平均以上			
進捗状況説明	・中学年(3年生・4年生)を対象とした沖縄県到達度調査については、令和2年度沖縄県学力到達度調査実施要項(令和2年9月29日付教義第535号)の対象学年に該当がなく調査の実施がなかった。 ・沖縄県学力到達度調査を県平均と比較すると、国語、算数で高学年(5年生・6年生)において+4.9点で目標を達成することができた。						

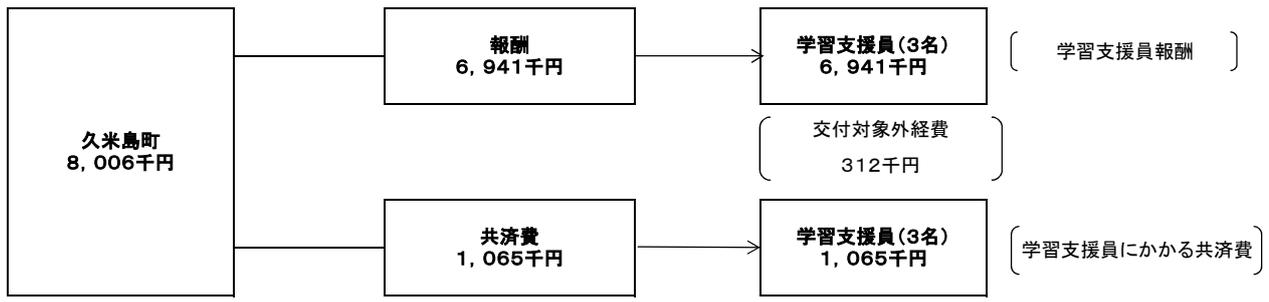
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲の向上や基礎学力の定着を図り、更なる学力向上を図っていく必要がある。(学力は着実に向上してきているが、質問紙等の結果から児童生徒の自己肯定感の低さが顕著に見られるため。学力向上とあわせて対策を講じていく必要がある。) ・各種調査の分析を行い、学級担任と支援員が連携しながら、個に応じた支援に取り組んでいるが、学習支援を必要とする児童が増加してきており、これまで以上に効率的な個別指導を実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任との打ち合わせの時間を確保し、個に応じた指導体制を強化する。 ・支援が必要な児童の学力定着度の実態把握を行い、具体的支援計画を作成することで、十分な指導が行えるよう取り組む。

今後の取り組み方針

・支援が必要な児童の学力定着状況を把握し、授業中・補習などで個々の能力に応じた適切な学習支援に取り組んでいく。
 ・学力向上に効果があった取組事例等については、学力向上推進担当教諭研究会等で取組の共有を図り、実践を推奨していく。また、情報交換の機会を設けることで、各学校の取り組みの工夫改善を図っていく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,318	8,006	6,405	1,601	312



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、基礎学力向上指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○不用額はでたものの、適正な予算規模であったと考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③	特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)ウ		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を各学校へ配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	29,513	30,524	29,539	33,649	39,816
		B. 執行済額	27,613	27,326	29,539	33,649	33,744
		うち交付金充当額	▲ 1,900	▲ 3,198	0	0	▲ 6,072
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	27,613	27,326	29,539	33,649	33,744	
		27,215	26,630	29,099	32,299	34,369	
		21,576	21,304	23,278	25,839	27,495	
		0	0	0	0	0	
		98.6%	97.5%	98.5%	96.0%	101.9%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染拡大防止対策による学校休校措置時の給料について、子の世話以外の場合の特別休暇を補助対象外経費としたが、それ以外は事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	特別支援教育支援員配置数	目標 (小学校12名 中学校3名)	(小学校11名 中学校4名)	(小学校12名 中学校3名)	(小学校11名 中学校5名)		
		実績 小学校11名 中学校4名	小学校12名 中学校4名	小学校11名 中学校5名	小学校9名 中学校7名		
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	特別支援教育支援員について、小学校においては支援を必要とする児童数を勘案し、目標11名に対して9名、中学校においては、目標5名に対して7名を配置した。配置人員数を見直したことで、児童生徒の要支援状況に応じた適正な支援ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	特別支援教育支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(85%以上)	()
		実績		85%	85%	88%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	・支援を必要とする児童生徒に対し特別支援教育支援員を配置したことにより、対象児童生徒の学習環境が充実した。 ・対象児童生徒の保護者への満足度アンケートの結果、満足であると感じた方が88%であったことから、支援員配置の必要性が確認された。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあり、担任だけでは支援が難しい。 ・重度の障害をもつ児童生徒の保護者において、地域の小中学校への就学を希望するケールが増えており、今後も増加すると予測される。 ・支援を必要とする児童生徒の増加や、求められる支援の複雑化に対し、個々に応じた必要な支援を行っていくためには、支援員の更なる資質向上を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会を継続実施し、特別支援教育に関わる教諭・指導員等の情報交換や現場の課題解決及び資質向上につながるような研修会をもち、具体的な関わり方について理解を深めたり、支援方法の共有化を図る必要がある。 ・毎月の活動報告等で支援を必要とする児童生徒の現状を把握したり、支援状況についての把握を行い、支援員配置による教育的効果について確認する必要がある。必要に応じ指導主事等により適切な関わり方についての助言の機会を設ける。

今後の取り組み方針

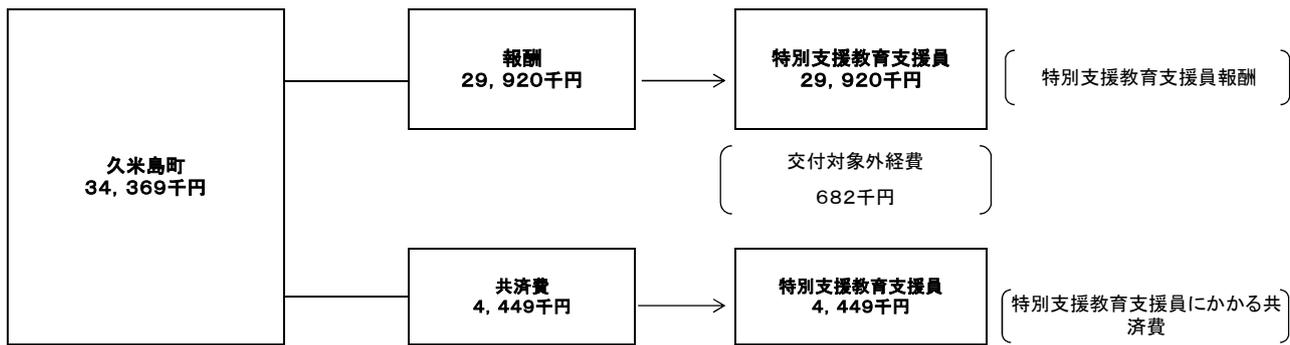
・連絡協議会において、支援方法についてうまくいった具体的事例や困っている事案についての情報共有を行う。指導主事が各学校において授業観察を行い指導助言した内容について全体でも共有できるようにする。

・指導主事の授業観察を定期的に行い、支援のあり方について指導助言を行うことで、支援の質の向上を図るとともに、より効果的な活用に努める。

・学校訪問等により、支援を必要とする児童生徒の状況把握に務め、支援員の適正配置に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
35,051	34,369	27,495	6,874	682



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、特別指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はでたものの、適正な予算規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-④	児童・生徒各種大会派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)ア		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	島外の人と人の競争や交流の機会を増やすことで生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会へ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,635	7,000	7,220	6,720	6,767	
		(b) 予算現額	5,335	4,735	7,220	6,720	5,064	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,300	▲ 2,265	0	0	▲ 1,703	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)		5,335	4,735	7,220	6,720	5,064	
	B. 執行済額		5,027	4,719	6,344	5,414	4,079	
	うち交付金充当額		4,021	3,775	5,075	4,331	3,262	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		94.2%	99.7%	87.9%	80.6%	80.5%	
予算の状況の説明		当初予算では6,767千円を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、派遣予定の大会中止や派遣旅程短縮等により予算を減額した。その後も同様の理由により、未執行予算985千円が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	中学校の課外学習である久米島町外開催の各種大会等への渡航費用等への補助金支給		目標 (派遣生徒700名)	(派遣生徒650名)	(補助)	(補助)		
			実績	509名参加	611名参加	601名補助	409名補助	
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明		新型コロナウイルス感染症拡大に伴う各種大会の中止や日程延期により、派遣できない大会またはやむを得ず参加人数を変更して参加した大会もあったが、42の各種大会に409名(延べ人数)を派遣した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績			88%	82%	
	【参考指標】派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験ができたこととの回答割合80%以上を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		86%				
進捗状況説明		管内の2中学校に在籍する1、2年生保護者に対してアンケートを実施し、102名から回答を得た。回答者の84名(82%)が「コロナ禍で参加回数は少なかったが、よい経験ができた」「島外のチームと試合することはいい刺激になった」「(個人やチームの)改善点が見つかった」「派遣は子供たちの自信につながっている」といった肯定的な意見で、目標値は達成した。一方で、対外試合等の経験を積むためにも補助対象となる大会等を増やしてほしいとの声もあがった。						

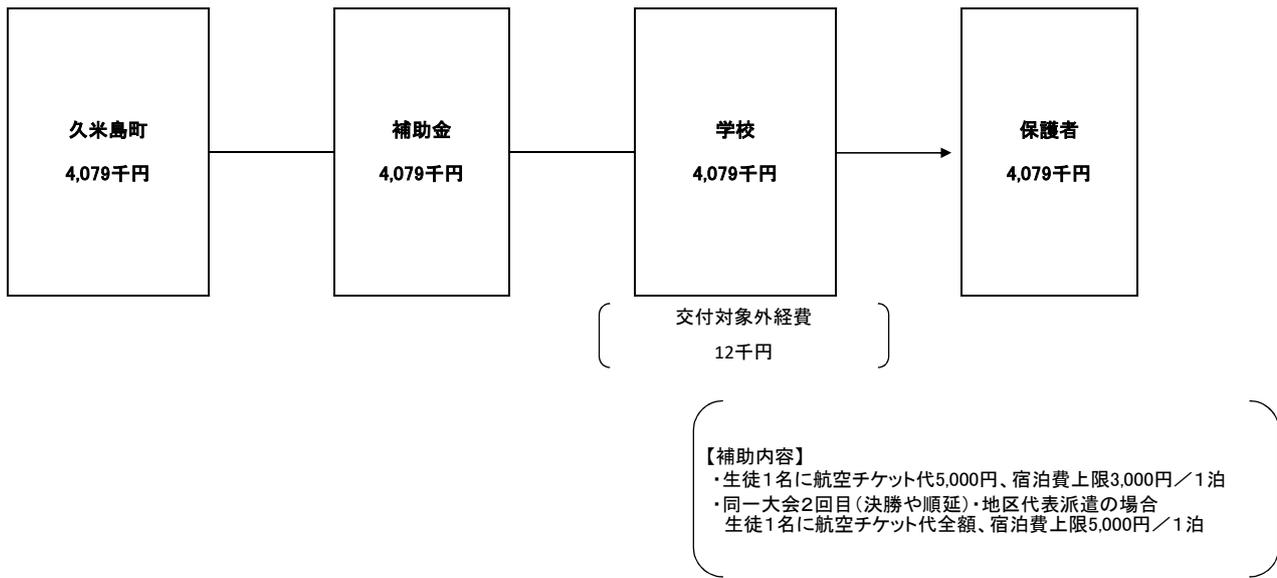
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、派遣実績が例年を大幅に下回った。 各種大会の年間スケジュールが大幅に変更され、参加できる大会も限られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の目的である「島外の人との交流や競争の機会」を確保するため、代替大会等への派遣補助を検討する。 今後も新型コロナウイルス感染症等の影響で大会開催可否及びスケジュールの変更等が予想されるので、各部の顧問は早めに日程や開催会場等を確認し、児童生徒へ周知する。

今後の取り組み方針

- ・今後も大会開催が大きく変動することが予想されるため、代替大会等への派遣補助について検討し、大会派遣の機会を確保する。
- ・各部活動の大会年間計画、各種コンクール(コンテスト)の日程等、開催可否を確認し、航空券や宿泊施設の手配に支障のないようにする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,091	4,079	3,262	817	12



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は町内中学校校長としており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用が生じたが大会の中止や旅程短縮に伴うものであり、補助対象大会、参加人数等について適正な予算規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○類似する補助が出るものについては対象外としており、自己負担額も発生しているため受益者には応分の負担をさせている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○実績確認で費目・使途を審査しており、真に必要なものと判断した。